

一般質問

議員9人から一般質問10件

一般質問とは？

町で行なっている事業の現況や将来の方針に関して、町長や教育長に問題点を質問したり、政策を提言したりします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。

今定例会には、一小の2年生が議会見学に来てくれました。

町探検での「役場ってどんなところ？」という素朴な疑問から実現した見学では、「聞かれたことに次々と答えていてすごかった」「役場で町のことを決めているのは知らなかった」といろいろ感じ取ってくれたようでした。



大坪 国広 議員（日本共産党）

気候危機を打開する
CO2削減の取り組みについて



町長 温暖化対策実行計画の改訂に当たっている



質問 世界各地で異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇などが起きています。このような気候危機の被害は、日本でも「経験したことがない」極めて深刻な事態となっている。次の点について町長の所見を伺う。

問② 太陽光発電や蓄電池設置への都の補助制度をPRし、さらに町も支援すべきでは。
町長 ホームページ、広報紙で周知している。町からの補助は、今の段階では困難である。
問③ 町の事業者や各

問① 2030年までのCO2削減の今後の取り組みと課題は。
町長 道路や町施設のLED化、電気自動車の導入など、削減は計画以上に進んでいる。3年10月に閣議決定された地球温暖化対策計画に基づき、さらに削減目標の設定と対策について、実行計画の改定に当たっている。



町で導入した電気自動車

森 巨 議員（自民誠和会）

子どもたちの育成環境の現状認識と対策は



町長 地域全体で子どもたちの成長を支える機運を高めたい



質問 教育委員会の調査で「自分は大切な人間と感じていない」と答えた小学生が約30%で、これは全国平均の5倍近くに上っている。また「人の役に立つ人間になりたいか」「地域行事への参加」「社会への関心」なども小学生とも全国平均を下回っている。町の子育て環境は充実している一方で、社会性や自己肯定感など、生きる力の涵養には課題があり、育成環境の改善、充実が必須と考える。町長、教育長の認識と対策について所見を伺う。

町長 30年度における児童・生徒の各種意識調査の結果から、町と



町内会と寿クラブが主催した芋掘り体験(殿ヶ谷地区)

質問 瑞穂町は多摩地域の中でも自然が豊かな町であり、それが魅力の一つである。そして、野生動物との接触が比較的多く、アライグマ、ハクビシンなど、外来生物による農作物への被害なども、よく

耳にする。そして、一番身近にいる野生動物「カラス」の被害・苦情も多と思う。以前に比べ、生息数は減少しているという報告もあるが、瑞穂町における、カラスによる被害状況および対策について、町長の所見を伺う。
町長 町の担当課に寄せられるカラス被害の相談の主なものは、「収集前の家庭ごみが荒らされ、道路に散乱して

下澤 章夫 議員（自民誠和会）
カラス被害の現状・対策について
町長 電力会社にも防鳥対策をお願いしている



町内でごみを荒らすカラス